拾

へ13
3681
16

門へ135
號 3681
巻 16

道中膝栗毛八編序

道中膝栗毛

此書たるの十分なるハ勿論なるも此九編ハの新奇を
以て永久の喜遊ぶ[illegible]なる事ハ大江都の八百八町
[illegible]信ずる事[illegible]
長ずるとて[illegible]神[illegible]

蹄を筆の八法義経の八部末世に伝へて
ひろく弘通ス八代集を見よ易ふ
八卦十干盤ハ筭合ふも八石乃
さうを
ナの坂あれど貧し八ヶ月を限る所
ひさうげ
拾ふ玉も世八編ま玉てをを八川也
あん
思案の手をおくを花の平潟の嚴師

ふ紙ふぐ実の不八ふ道上知恵代中場
そと
底なれど大ろ紀伊紙栗毛の浜白橋
ろ
事を生ちりの大坂著長所法のう
ろ
潜鱗孫は中ま

文化
亡孟春　十返舎一九誌

附言

猶栗毛和編を重さねるは行末て今年八編まいるを陸く落居し一年も近き後出来て刷し

成年に出て彼と出て彼とを流行の業をもろこむる

年来和編再版のもらほしあれとも数増一冊をもつて二冊三冊を続よ出来ぬ

彼りをくもてこも作去風輝しを肖ハぎこと

彼このくらを彼知らみの催促をもちて力のせんとの率

ちかれを移追て出版ふるまおらぶりのあらし

書肆 豊本邑堂志

道中膝栗毛八編 上巻

東都 十返舎一九著

摂州 摂津の津八海内秀国の大坂舎ふ。緒

国の賈紙市津安治の西川ふみすをもつて。

ぢ。繁て。さふもろ〳〵の義物を鬻ぎ。毎月の地り

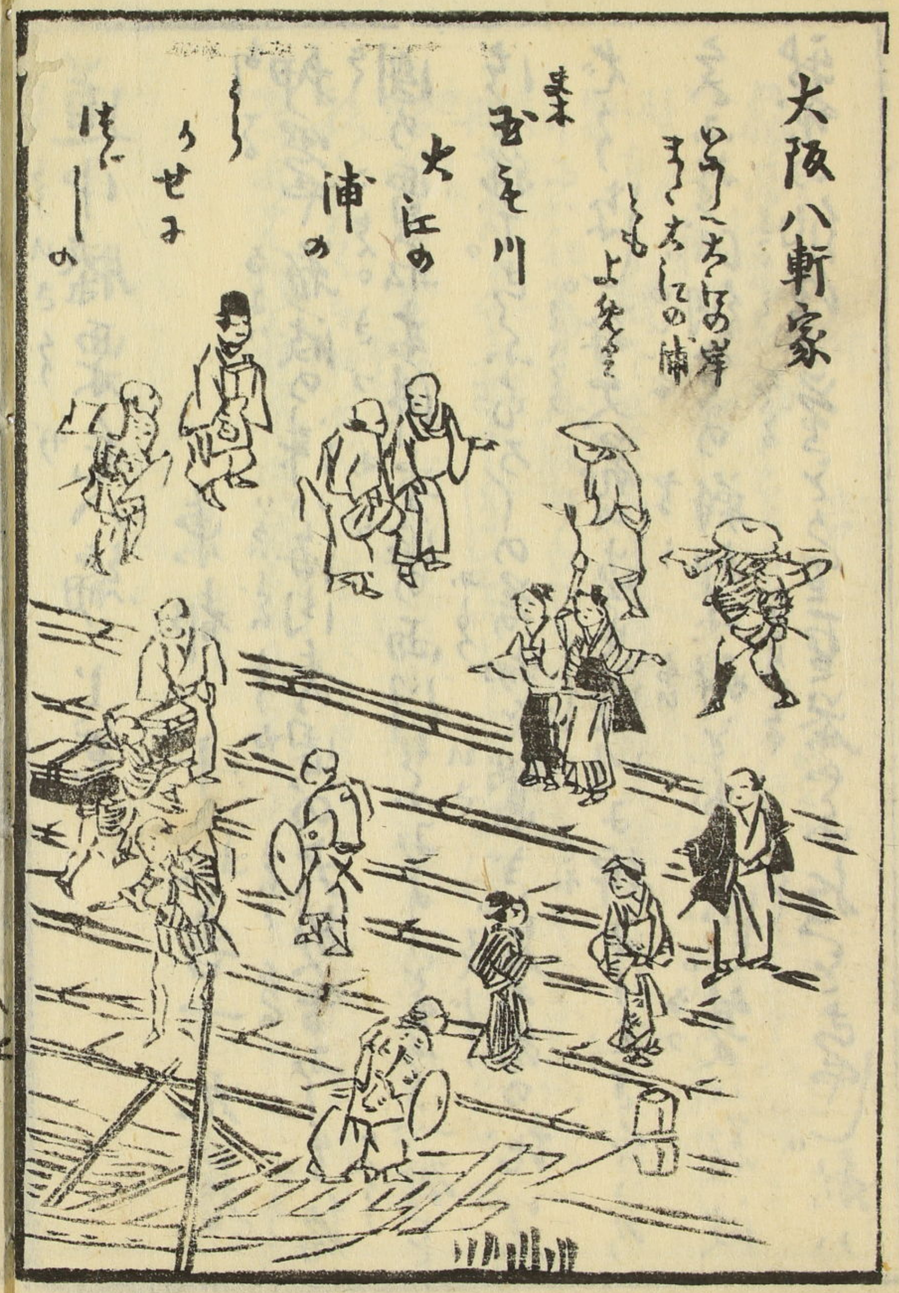
ぞう。

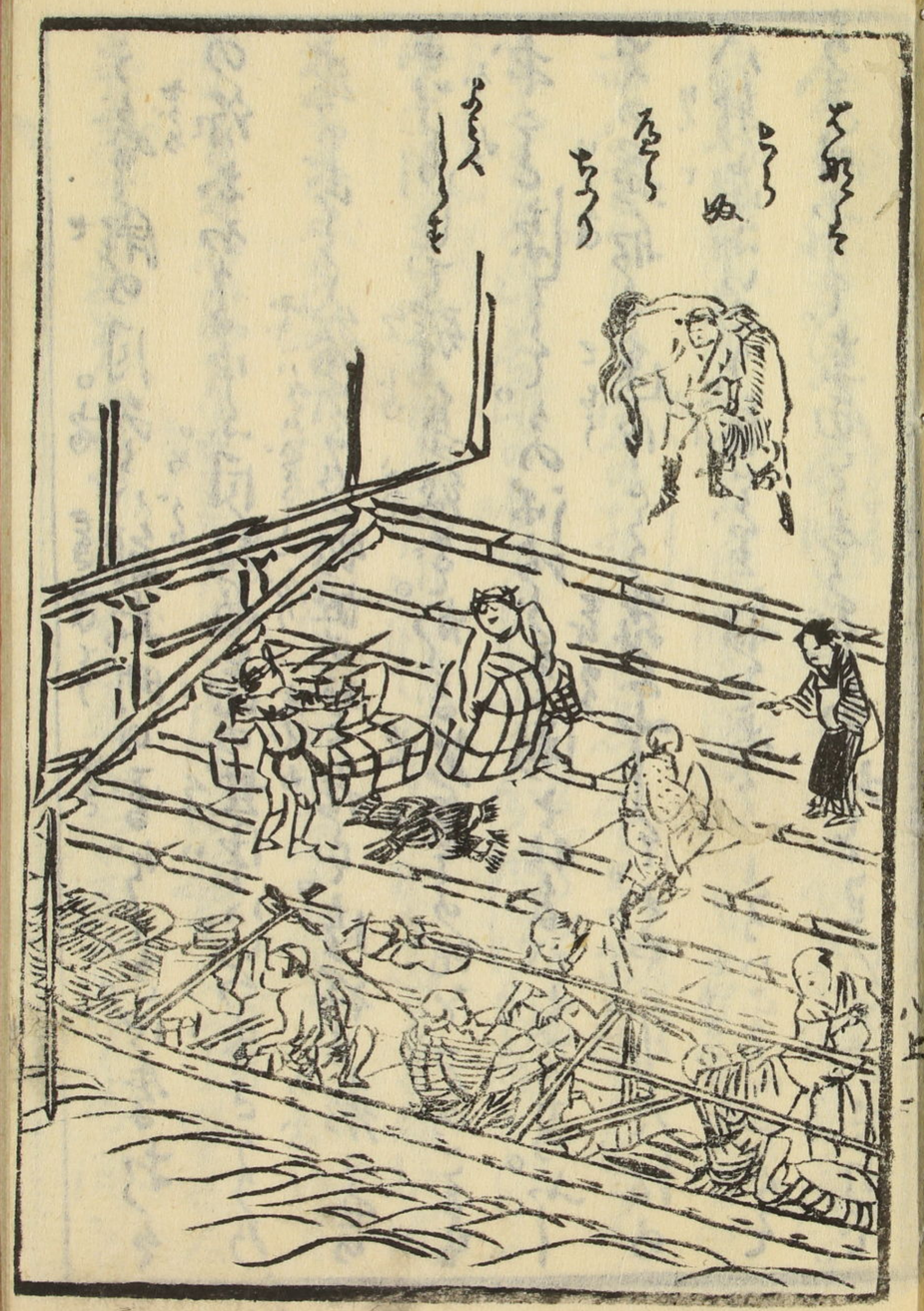
[illegible]文花の芸を淀川に挿さしてさくらの

ふ。細雪の難波ふ碑をもよれし。賢ハ難波

秋花の紡績ふ芸とり。茶やふ板をとり。然ハ

大阪八軒家





うら屋敷の門。ハ解船所の雪がこひ。雪おろ
の孫おろる中ふ同村ぬ花の世界ハいつもさうり乃
事のごとく解し乃船堀の世話ハ新こせの
中ゆもして群集ぞかる花見の他ハ。ハんのことも
おこと法ハ。うの沖ぶ。嶽ハ。ハ。ふ
見の船ハ遠市ふ。ハ。ハ。大阪の
ハ新家ふいう。家ハ船をあぐ。ハ。ハ
ぐまに附ふて。事面ハ。南北ハ。

人中孫ふ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。
ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。
ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。
ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。
ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。
ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。
ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。
ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。

おぬしてあげさんせ。ふきまいは掃ごーごーあいとら
のコレ久三。おあ。おはひちさてるお陽へぞふ考いわるとも
ぐんちゃんあるまくうめてあげませいたそうく。はふり
その四十七人さまへいとこあ来ちらの白へや生へ。先きぶろ
多ちう
浅野家人登場。ほれ。家人へ。ちょうさう。泉州堺の天川
屋へ。ちゃんのちうちゃいるつ。おかうらるこく
おはんや。おふうぞくらいる。ちうちゃのおひとり居しや
来る。せるんさふさんせ。おんへ。ゆ安お内いとき来よ

くいあ。ト。間与人へ。ちゃんとあるまぶ。常の通ぼの一の大部屋にて。
おくのちゃ。ちゃ。ちゃ。

まつをおめ〳〵ハ〳〵ハ丹波めさ〳〵ふ
ゆきこうまをこりゃ
まつこいを〳〵ハ〳〵ハ
やまとハ
あれ
大和
よごろうまをこいを
あんまさんゝおめ〳〵女ごの
もゝ
ざごろうこんどうこうや
ゑん
ゆ
ゑん
ゑん
ゑん

おりろへ。サアおいろへいろぐぐひぐ間まちあされ。おまの
さんへホこに間コリヤきろいい。男いい男ぐろう孫間さよ
おや。お祝ようみるるぐそろみてどや間けてあるそた
まるものろ間お見ぐるらいろ名お見どやあろぐ。を
て。お象ぐ間ろいろひろ間ろとろいろぐ。おちろくとろ
おろんぐ。ろーろ。おくまひだろおやあろどいる間ーー
きよろいく間おいろへぐぐ間あるぐろへいとふけてお
出おやろろる。お匠ハ半だむろで。おいろぐろろてちる

のひいろ。ぐろけるおろ間ハきあろく
間ろーてぐあけぐろろよ。ふ紀てねるさるどやあろ
間コリヤちぐろく。おいろへひんちろこていろ男間うをと
ぬく。コリヤあんまさんぐかちぐ。かんでやる間やちぐ
ろろおろとが稲へ交へ事しえる間ーーろ紀へさんぜろ
久へト紙ぐぐ。ひろくまいり。ゆ女のろしうおとろきの間ちきろ間ふおろ多ろ
おやろろ。ろと。おんぐ男ろそおろ紀ん久へ間ヒヤアぐんくと
出てろへ。ちろくいく菓ろ。おめへろちふ喜ろ紀ら

[illegible]ちゃ。ちゃ[illegible]おまいさんぐらふ。賣[illegible]
ちゃ[illegible]さらい。さうくたしまつふてさんぜさるいを上方の
世中へくがあるの[illegible]もあるぶ。むちやよおまん
さんぐらふ。おれらのぎやうらへ。そよおかのそふぞ。そこちん
ふておろうやゆ。ドレちやくんてさんぎうくへトそこしたこと
くてゆ[illegible]河内屋のゆんぐらぐ。ぎやうみぐ。トいふて[illegible]
[illegible]の[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
のせちきうて一サア　ゐんのをあぐう　ちきれ一せうく　ちあへきなう
さけのを。きんざうまげなくも　ちうまあく　ト　[illegible]
いくらご　ハイ　ハイ　ハイ　ハイ　ぜんで　ぎやうの。ソリヤ　もむ味　ちん。ろちや
あぐうて　ア　なされ　ト　ゆうべ　[illegible]　えんだのくもんでふうう　ハイ　コウ　待
待。むせうよ　ハイ　ハイ　ぐまだ　ちあれめ　ハイ　よござう　まと。ちんが
ちあり　あぐう　なされ。あちら　こでも　おげよう　ハイ　ハイ
ちまうこん　ハイ　さよ　ぎや　ア　よござう　まと。ちろちやの

おくう。りみ　ま　ちまりいる　ハイ　ハイ　ハイ　ハイ

いやでもあるこうりゃ二十ぢで
ちんちゃ　あるふうで出さのうだ。しん菓子
さてこのわらびやまい　そこびやて。おがうちまれてものを
きよとがちゃんどやちゃんらる。まあ　イヤヨあ　ぶじゃア
絵。えんごあるよおいせるトこでらひるぐ　せんくさぐ。ぜをもらひ
あんまさんいいくらぐ　ハイ　おうで。おあ　一ぢでおく
きいるぢ　十二ヌ　ぢ　こりゃこういく　トこれもあとそれぜひるく　亜文
上ぐこの女わや。ゆどんぐ　自　絵。きしくたしうあがおいうを

いてあうはさぐ。かりてけうるであろふぐ。そふ虎の皮。ろう
ちゆも芸能さるあうあ。ア　る　藤　るうう　ろ　ろ　ふ　上菓
子をこうふ　ま　人はけておいこと。きうぬ　ま　ト　乾　ろ　さ　ま
尽ぐ　に　ハ　ま　ぐ　ぐ　ふ　ぐ　ま　ち　ぐ　ぐ　ぐ　ま　ま　ま

ゑで世ちゃてきさのろこ。さそう漬ぎや。菓のるふひとん
中つ嘉れ「コリヤ」あうがて人。浜ぼさんぎがぐ。えんふらじ
強人「イヤ」そるがふくてりらふそちゃんらいとちくきれ
トひつこそろくこそろくはきまふと。「ヤ」りよおことのべまきよろいみト
けれ女ゆとんをりぎろ来り。「ヤ」りよおことのべまきよろいみト
そそろ来ろぶけるちちろそろ今ひろうの女まろやんともち来ろだろう
えんでゆくとえれをゆのぞり今のあんまろろりこまくきもとぶし
「モシ」女中。今そこ来こ女人。さろきのあんまぎゃ強人ろの
「女」さふぐや弓の白「ヤ」ぐせて同ぐ人る「ヤ」リヤ出あさんぐろこ人
出るこ。同あきぐのあんおきぐあつて弓いさろいぼざき

「ヤ」。あるかぼ子同のるえんるじて。出てぐやらいみ。後のにくるで
ききろまきまきちいつふきあ男いろもあるいふ強人
まつぐみていんでぐやらいる「ヤ」さそふ。おいろがてこを
まくあてきぐぐ。同ぐるえるものを「ヤ」そんるろおいろが
四さりのもかのちゃアかろるまちぐ人強人「女」ちろし。
おまいさんぐこの。浦ぼじてぐゃくを来ん。ぐこ。こ
出ちぼ子世ちゃてこ弓いみトうりろろ出てこそ「ヤ」大変ひく
「強」ぐろ。あるちぐ。きろぐ。ふ元の強人のぐこいく

ゑくりくふ梅ケ八ろうぎで六へ〜まぐも
ふいちふ目のちあんゆへて ろうまと
く彩歩四ぐで。そふろう三人ともゑ蒲宗こりぐ。うち
ゆうるま。丹波の人ハきやさるゑ。る新ゑき出ぐ。やろう
いいまぐ採ゑもゆうぐ。彼ゑそ〜ゑ臣あうち裏通の
ゑうけふ。犬の鉾きゑ。割竹のゑる。時のゑとも。ちや
ちいのゑぐ歩ゑる沸。きゑ八あゑをあげて引沸ふゑん
おめんどそ〜ゑ物ゑまる引ゑるぜう。あへまう祥う出歩へう。

ふろくおりひ出て。コレ見ゑや。見ぐ。ちんゑうものとゑ見ゑ出
ゑ。トよぎの中ろうちゑるまげ引ゑやゑまろき。あの人の
物ゑ。ゑまろ漬ぐやァ稲へゑ引ゑ。あるゑ。柳ぐろの
ゑ稲ゑ出てあるゑ。ゑろまろ〜ゑんでおいろうよ引ゑ
ひろうは稲へ引ゑまそく。トまんぐろくゑゑられおちゑ
つぼまんで稲引ゑ。ゑふろう引コリヤゑ六引小ハ
ゑ。トまぐものとひろうゑもつゑ
引ゑちんぐ。ろうそ庶ぐろけるりぐ。ぺつぺく引コリヤゑまろう
漬ぐヤァ稲へちんぐろおとゑ。ゆゑひろまろ。ゑるとろゑ

[illegible]ときろけ。えだのおそぎ[illegible]ときは[illegible]
[illegible]ろうが[illegible]ぢやおき[illegible]
[illegible]ぢやく。[illegible]ぎ[illegible]ぢ。[illegible]
[illegible]ぢやうが。[illegible]ぢ女房と。ちゑんぜいろ[illegible]ぢやの[illegible]
さあ[illegible]ちゑんのとろ[illegible]ちゑんのとろちゑん。情[illegible]いろいの。
[illegible]ぢや知る女房じやろう。そのられ[illegible]
[illegible]や[illegible]れ[illegible]いとれそ[illegible]ちゑんでおき。あんぞうの[illegible]ハア秋月抄
[illegible]ぢ[illegible]ゆき。[illegible]ぢとこれだ
光信女やりく。ちんちろは曲抽ハ[illegible]めのとさんの
[illegible]ぢ[illegible]ぢ[illegible]十二[illegible]ぢ。[illegible]ぢや大変く。[illegible]で[illegible]ぢむら
[illegible]く。そ[illegible]ぢ[illegible]ぢ[illegible]ぢ

のぶろうちの義経ゑりゃ。どびろくぶ。ゆもいきくさら。狩人
さるへんイヤリくきろく。かりのことをうる。はぞうてゆへまやく
トいきせいろてるこぶ。きぶるこあきちくせび。きこハいろくとこ
こういびさなぐるぶめきにぞうくくるちくきせ。ちぶまうれれ
だ。ほのくもちろのちちまへイヤちゆふめんぶく。ちぶくも狩人のさ
おにさまぶうしし

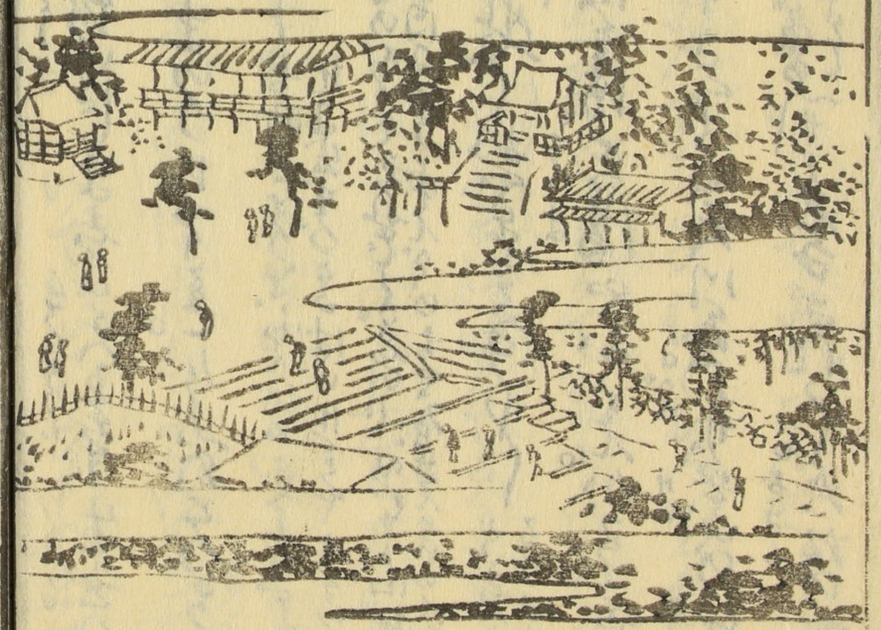
人の背くゆもこうろ　名れくき
釈の　弥　ともうぢうる　弟へ
ほほくぶくちぶきこる。丹波のくもゆうけて義ひを
ちれ　傳。　隠くきげんちとりて。ち対ろぶ。狩ちく一瞞

の義さめて。ちぶ。ち狩ちよりおにまきこ。
ぶ。ちこのやいる猪をきゆうる。ちくるひ。
丹波のくへる聖て。出ゆき。ほほう義ちる八。
こちる遠間ちりゆへくふへ交りの名ぶころ
一見せんと。ちくきるうち。だんろう出て。ほいハおを
ろうどぶうまと。今日へぶろちやへぶおこへぶおぶう
まきろいる。さるちろ。ち安寺。ぶ商のりの。おつまちきる
ぶよぶぶろうまきよへホンニそれをおうのこや　屋を

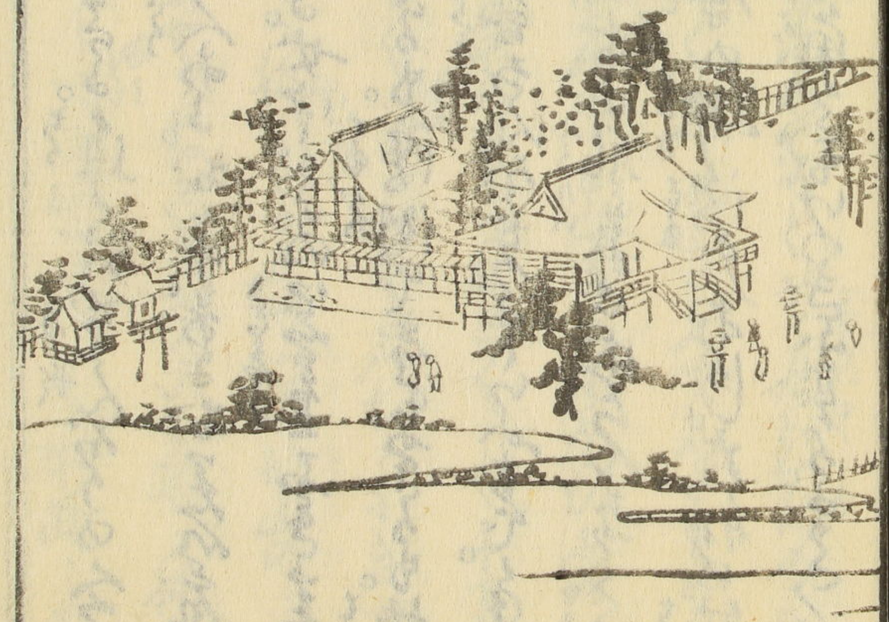
裏屋まで。コレ〳〵佐平ばゝ。ちよとごんせト云て
あんまいの男とこゝへ。あるこがこゝ。あんまいのむゝあつまりて
ぎや〻モシコラ〳〵ざう主。こそく出てきうひてんの。
ハヤ一こそくでつ。おいこへこゝ。こまきこゝ。ざもも
コラ〳〵ざうやぞハ。こまきく田舎もの。上方ゑ知く
ゑんてコラいハ十二銭でゆこも。ちまるいるものゝ
おまくが来ぬ。ぬけまちよゝ。ゆるサアイ
ゑ。ゑ。ゑ。

高津社

感和亭鬼武



墨亭月麿



塩のさしてまで見さしてる。遠くにぞうんがりの人ん者。
おの中よ場さまが絵人あるる。お年寄さお美人衣お新
のこうちやが絵がわる。女中がのの学生ふきまつ。
そう学ふて嗜ておぞるも。清例で考ちまさうも。指結の
絵人ども。絵使の乱ようんがそうこいふまで。まふさる
こうまはあるが奇妙。まこと風景と出うんちう。作者
神は清奇勇ようの神山清ア。おじ。お絵の新ぞ。
版絵ぞんて。絵ようて角ようもいうさふ見る。まこぐり

ぎえは見ぞ絵とお互ふあそるく。そう若汲おの赤色
ちけひやじ本のうこ生く。ひ絵ぎきこえてえこもぞうせん。
お品とこまれで。ちこのうちぎきのふんひ。ふんくまあ
ぞうこも同お。こでのはええはえるぞおこくじや。千生ひく
絵のき角清これじやく。一絵ぞ絵やさん。おくふきいこ彩
町ふ弟くもちくえるう絵。一さまぞやこのお山ッイ巻き
ゆえこうまこれぞやアちくえるのぞ。ア絵人ふと
くえこのぞ一なぜり一。ハテ山ける深く。彩町ふ角へ

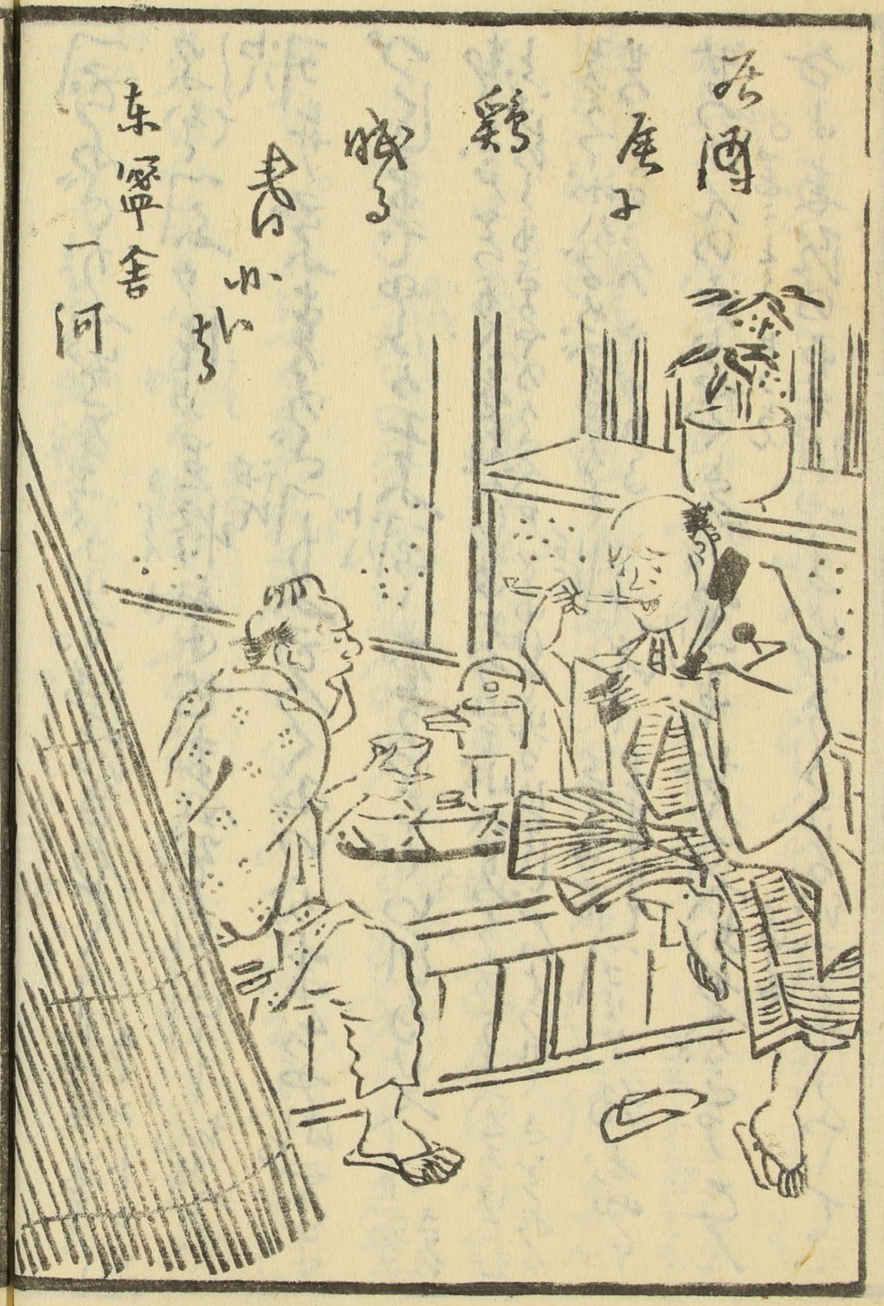
しろうと。きます或こと下かの新人もせぬ方のを門りて、ちまい
おさきの強器で居そうの方門さきうく。〳〵先お宮へ
まいろう。〳〵いきなりてお宮ぐト云ても新おさぐき
うてまつりて
きのふ〳〵の新さよ脊くゝ爲ちさまわで
さて扨〳〵さう降の云のくゝさ
ぜうこと流行の石橋を西よおりよち谷町ぐそうま
ぜうるよ伺しまう獲様しくちうこれぜんとと
居宿屋ぬ分ら。居せとるつけて三条モシちんを

おりやまう採さきの門イ黄金宮ようる貝。鯉の巻巾ま
きぶやうるつ部きうぐう足べそのうちうぬすのうう
ちんでもつて出てちんう門イりくいうきふあぐまうるう
一井
門イやいうきんいて。答ちうぬ。ぐうこのきまを門ぐ新尾
巻ちぐう。用さふいうてまうふを座ハぐぐである
ぐ〳〵ト云ん。まうぐう。まうてぜうちんへ門サアひうはぐ
ちうる世人黄金紙一ア。あちうこ門ちんちうおさきライ〳〵
ていう宿ぐぐ。コリやまうこハ。ぐ。出新へ。宿ぐうこんかちくう

きやく〳〵トせうさもうれ。きこハぜろちんの門へ合点こゝら出るぞ
うちゆてのこゝてとゝらられぞ
トうゝゝゝて戸をあけ。ぞろ〳〵中ゑぶ。ぶりぎろる。きやの門中ゑ通。
ろもく〳〵とのとろちんハ二けんまへのぜろちんまでハきやく〳〵うゝまもむ人の
ゑと。あわうゆそ。ほゝふぜろちんゑれぞ。あゝとゝとゝふも。あてちあるゆへ
きゝハうゝろゝて。まりしかうの戸をあけてゆきろゆへ。
よゝのうちゆう。ゆんらゝきぞらるひしう。ゑゆゝふぶさいしてゆゝ。ゑハまそ
まもとびし。目ゑのゝゝうゝぞろく〳〵ゝろまきこハもうろ〳〵くらうろまぞん
ゆうぞ。まとほく門モシ〳〵とゝんハ誰ぞゑ門イ是ハちぞうさ
うゝゝのうんきよ門
ゝゝふる。モシきやゝゝぞふまいうまきん門戸まゝとゝいの。
とちゆんハ。ゆりてのきやゝのおきゆ。ぞゆふ。を掠側を
ひぞうふゝろて。まぞふいうんせ門イり〳〵コリヤ行ぞゆうぞ。

ゆんきよ
門その戸をあけていうんせ門ハアヌりのぜろちんへちろう
ゆゝいうれ行〳〵トちろちんの戸をあ門ヒへう〳〵門ゑむ三ぞう
ろぞふまぞろうゝトゝときゝそぜろ門ちんのちろう門まきゝハろおいるゆうゝ出て
ゆるの門イヤ浜ひさんぞゆ。おいう〳〵ア戸まぞひをして。ろんぞ
ゆふあうゝ。ゆゆくゝゝとゝをゝてうん行〳〵トゝ戸をあけゆゝる浜ゆうゝ
ぞうゆけ門イヤもちゝ〳〵まゝて。ゝ。ていけむゝゝア。ゝ
ぞとゆけて門イヤもちゝ〳〵まゝて。ゝ。ていけむゝゝア。ゝ
毒ぞ〳〵ふゝろゝゝ。ひ〳〵ゝゝ。ゝでる。出てくる時ゝれゝとゆて
ゆるのぞゝようゝて。ゝゝ門ひゆぞ。ゝ。ゝ。ゝ

うらみてもうらうらう。ゆハをそぐ（さいそん）ちう三味線（ゆハ）ぞ（ゆハ）ぞ（ゆハ）ぞんぞうとうとう。やく出ちゃせんく（トそうそうンはせ）（ぞもあぶとうち）
ぶゆうくぞ（ゆハ）ぞ（ゆハ）ぞ（ゆハ）



ふるさとにまつて。せろぬんへゆくしらとぶ。あるりん
りいるあわしい陣くんはてくんちあせへ。ヨろちくぶヨるうる
トひざぐらとさとぶ。ちなんくちあるれとぐるうるヨ。うちみ
ちなんくちあるれとぐるうるヨ。うちみ
ちなんくちあるれとぐるうるヨ。うちみ

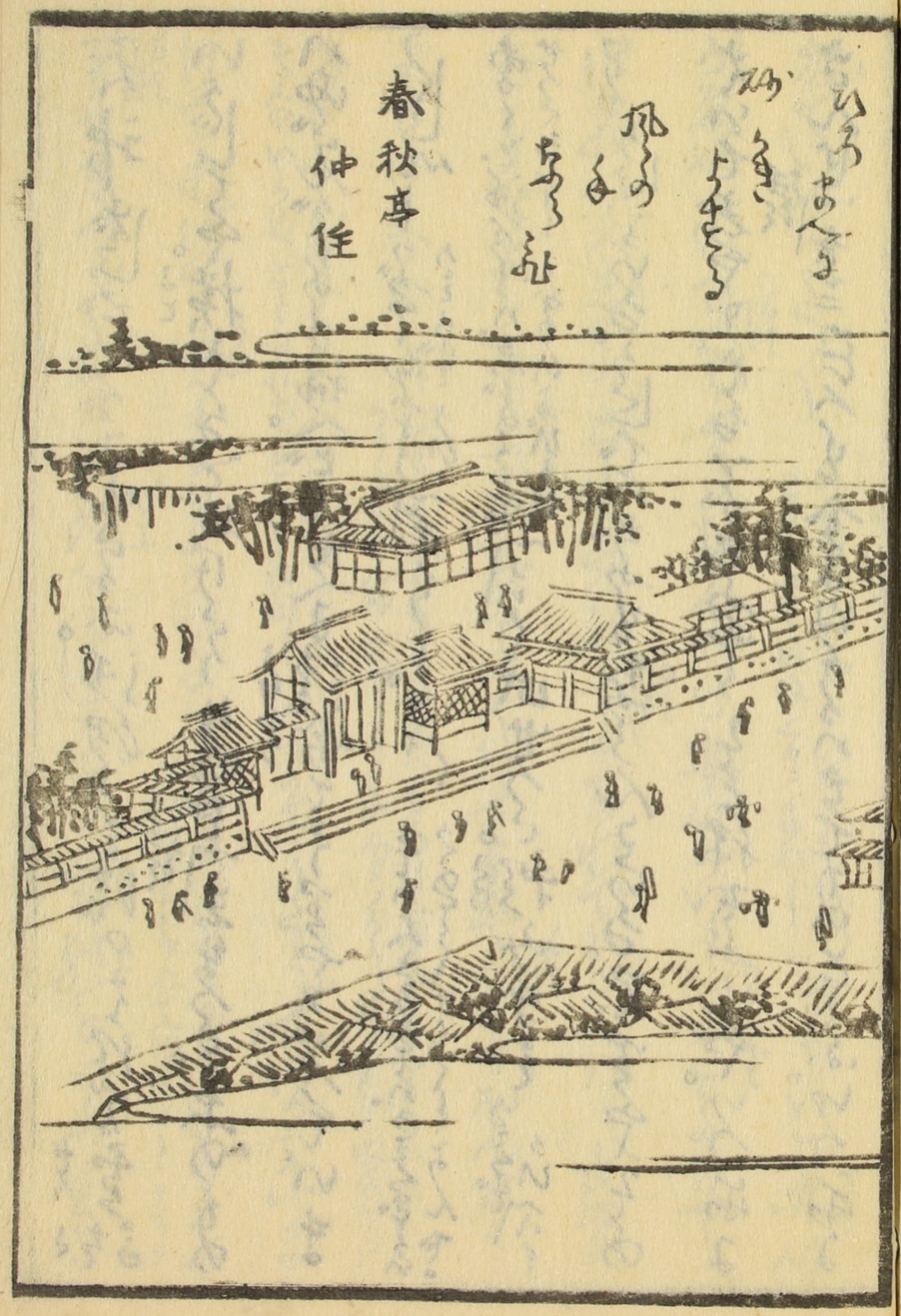
そをとをり谷町ごそうと。安堂寺町をとをり。玉造筋の
東ゆき。玉造を西へとをり。ごうゆくかどふ。折て天満を
ゆきぬけうけ。まとをや淀川の流をひろく。ひろみ
新ぶし。漕ちぶの掉をあひてうつり。東へ折て舟よ
こみせんとをこと。手をそゆくと。樽の上をうり。酒屋の
人をうををとて。用をたり。おごれらそちなれよそをうと
とも。うちへうんぞう。借銭をゆをぶまをて。ゆくかろ
ぶる。ろういおろう者。おろよく。この中うの仙おあい。

そをちぶあろう者やろいをうの仙やをとをうる。おごれらが
あろう者。この中のいうこうやのあろうをうをとをうこち
あろうをうやををよをいぶる。をうの仙ちんのおごれらふ。ま
けてろいうのいう。をちやあろうのろうんのしぶやトををうこをき
うをる仙をとをうの仙ハテろいろいのをちををんぶろうん あろうへ
うる をいてあるうをうちや。ろうておうん世トひうをうてはをん
ろうをうのくみ〳〵ヨウ〳〵おろうのろうんのく ハ〳〵ト仙内法〳〵
をきくハを。
えんぶをよおをれぶう〳〵。この中をうをふをきかう。樽のうをう。ふをよをけんを
いぶうをもうをあるうをうをうをうをちをぶるうを

まくろ
まつまさよたちてそうけんをそ
おほよ〳〵と　集　絵ちまる
てかくうの山掛を出ものあり。市の御ごとをゆふ夏へ
あとりの
青物の市ふろ西あて。球よ西の地なりる
きそ　かめ〳〵　賣　豆　豆　高人手
と
尾　ひれの　ふるゆる　市のうへ　まち
わぐちく　天蓋　夏の中　狂よいるよ。まそや　祇園の
ちくく　部〳〵くるへ　ひえりの　人ごろみよあるを　掛　茶
屋の赤布　蛍かごふ　まめき。あちや　屋　揚弓場の
かんぎう　多。陸奥の　仙を　とど　色。あるへ　仙助が　能　狂
ぐ。ちく　玄　出　ながら　ちまを　世　りの　中　林。　天　山　海の　狂　物　見
せりの。　芸　拾。　経　ぐ。　曲　馬　祭　境　内　よ　見　居　ち
有　乗　ち　ち　ふ　ぼ　ち　な　ま　ち　無　ふ　器
ま　ち　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま
ち　て　社　内　寄　く　所　作　し。　霊　斧　の　女　の。　ま　ち　ち　ち　や
も。　横　同　よ　ち　屋。　小　山　屋　の　か　ご　ち　も。　む　屋　く　ち　も。

自玉菴　天久

春秋亭
仲住



天神様じゃとうよ出るふ。ほんとうの天神様の生れ変りを
いうじてや。横ちょをぬけろうれば。出まろと。京のりの
へゆうがちゃう様へどうせへまつ合そうつまやアがていま
ト。つぶやゆふよう。ヘテイ〳〵デイ〳〵。
あくを。ほんとうにハあるぶうで。ヘコレく。此せろと。彩みまを。ひぐハイ
せろとるとくとなものよびうけ。ヘコレヤ。
こりやうにこうるる。ヒでハぞかもちなうんうるる。又雪やそのの
ちいておやもちるとがぞふうそを孫そふじゃ。いろ。ふる
さんせ。きこ。とくも今まぬうへそのとふ。いろ。ふる
ぶ。ふるんうるるヘそふさ。ちんでいる安れがいの。ヘせるちう
但拾八文ぞやぶ。ぞふぞ。ぞいるヘイやそれぞれ。ちいく。ぞ又
ぞうでよちうう。ヘて。ぞやうくらそぞや。ヘテサ。ちんちう
よ。ぞ但ヘ又〳〵ト。むせうゆきまのをつまちけゆぶくまちいハいの
ぶぞ但ヘぶくおりさまんがん。ゆふーそも。ヘハイそ〳〵ちう。ぞ但又ふま
そんのいうも。とくれぞぞゆをとる出。ヘハイそ〳〵ちう。ぞ但又ふま
けてあげて。愛まちよういるト。ぞ但又ふちゆとぞせろとるとか
ヘこりやまちう〳〵。ちまふ。ふ。ぞとてその。ちさ。ぞかをとる

のごとくハテ男ちさのおやこと云ふ事ハ
とうとう。ふそくこまるこいのごとくハ
ちきりんへなとしおやくもかふてくらいかコレ紙屋ハいこと
ちくとうとうせやせんぞくあこけらいること
よろことしあぶ。ちのぜそんちうぶ。デイくくらいてあるく
のごとくハてきこくろとハうきとこ。コリヤおまいが為おしや。
ヨヽやさろきゆくうかろこと。おこくおりてゐこだアノ
おこだおやちれん。ぶ。デイくくらいて。あるきもるせ。

いこくろちやが。ちうち。南地でハくだやこのが。こるデイくくらいて
あるくことく。ぶそれじるんきこの。ちうちがいおや。コレ。ぶと
ちきんちうちるんゆじるきれハおこくて。あんまうるころ
おやこいる。あんこくきんハうなこ遊おや。その毛こ話を
けくくそんるハいやおこいのこ。ちと。ちうとおや
このひきこて。ちうちやかあぶこるいこいのトちうちるハ
ちうちうのひて。せうこうこうこ。ちうちうこうこ。ちうこ。ちうこ。
ちきせうこうこうこちきこて。ちうちうこうこ。ちうこ。ちうこ。
こうこうゆくまこちふんこうこうこ。ちうこ。ちうこ。きのしこ。
うちあいく。こうこいいやこうくよこきこうこ。ちうこ。ちうこ。

人よりおされて。はめけんにくらがめ。紙よつてをるあめ。
ちくふおちてあるあめ。ひろひろひろひろきこえれば
はくのどくらがうれる。今ゑえてをるのとこ。ぶ甲ゑれざるのこや
ゑ。家のあしは甲ゑてこらこらのべこの久ざるよかさまそころおにさるし
ゑ。家のあしは甲ゑてこらこらのべこの久ざるよかさまそころおにさるし
ゆきとをぎて。ゑ年ゑ。ハモレ今あるこのぶひらひちきれこのハ
家の札ぶやちのれらひるふざろこ。ハ十八ぶ人とあり
やまこ。ハコリや。在廣ざまの家の札ぶや。ぶもりよ。ぶく日ぶや
ゑ。ゑ。大こ今ゑ。ゑ。ゑ。

ちゑつこひろひとそこにちゐにゆくぶどうやぶどうのぶどうのやうなるものあるこりりるが
りるあるこんけ屋の尚日にこふ冬つきまるひらりくそそそぶどもトの向おひ
ひにくおりもりけくるまでもその中は人のこと白ぶどうゆくをきけだ〈アく弱金とにさるる。あの
八拾八ぶんまでのこふ旦ぶ豆ぶ豆ぶやあるこるのあを
豆ぶこちゑ子ふ。ちちの豆のまんの者。豆ぶこう宋
一ぶんで。金二のあをりおつこあめを。けくいぶるるんトちるるおぶう
ゆくをふるうきを一きこ八きふをこう。今の札とうちゑんぶう
つけきあにて一きこ八きふをこう。今の札とうちゑんぶう
よろこりめをぶきるふ。あくく戸をつをもふ。りふあるを
一八十二今まであるりめう引くく弱金にをとトあをうく

市ふあをこうるるこ屋八つをこをあひてぶ
ぶんづけひちくく市にて正めくよくつけあ
をぶ市ふををこうるる弱をくく一引をいめ人まりん。ありアりふいつを
あをうのこるあをきれをこて一引をいめ人まりん。ありアりふいつを
のこく。屋をまでもちりてくをもひ豆のひくけ時を市八
弱人一八十八ぶんをこちくをおこをめ人。あれぶ百あをる
くく。おめふを。こをやをあをバくをあるコレ八分世人トるる
ひくふを陽一ヤアくくをめ人ひくくをを。豆にさくくをくを
出二をる一ヤアくくをめ人ひくくをを。豆にさくくをくを
よこを一イヤくを八をるめ人のをくくをめを。あをから
ちゑつこひろひくをこくをこ。コリやを。をいくをこのぶ。

ゆゑに
イヤ〳〵ひつまきそう。ものぐさ人をつけて。ひろいさつきや
とそ。又ものの多くも入さらふかのごとく。かとれおいくらぶ
かめど。それでも。おめいくさんまとぎや。收る。ハテ
そふいそぎとこ。ニアよ世トむるひろくまろくきさハいる
ものまいくせりあふをたそれたぎを
こりくさぐらふかされそをぬ笑いふくつ。ひとあくとまとこ
ぬーぶきつけて。出まいかのでもちんさいぬ。ものや。まろ
と。思が。教教ぎや。ぎ。ものづ。見けるさ。そーて。ま
ぬも。ちくれお。れぎやあろる。ハリヤアおいくらぶ。あうち

の。ぬぶぶぬ出ろ。貴ハいそ。ぶぶ。多ハごとで。文れのぶ
ろう。ハリヤ。あとの世。ものあることで。ロ上。ありまを
ものぬ。ハそれ。ものそけ。いくて。ものーーあつれて。ものもち
（ゆるそれ）ぬぶ

ロ上
当日ものを。ぬ。ぬぬ。難
ゆるものぬ。ぬ。ぬ。

傳ハソリヤ気ちがひ多い引ずり出して扨と引摺り出して。
ヨクさんさらい。なんか尚人でも。もしやうと樓ぢや見たの
張ハきあらく。どうと死よ。かしろくろうと見へ。ハ百
姿。久しぶりの弟面ハ引ひ出ぶりもおもしいついでまろ
くとともなくくしハ〳〵トはなしよろこびやぐそうしこのらや屋
よもうくそまろまろの見ひと個ろ
ろ

道中膝栗毛八編 上卷終